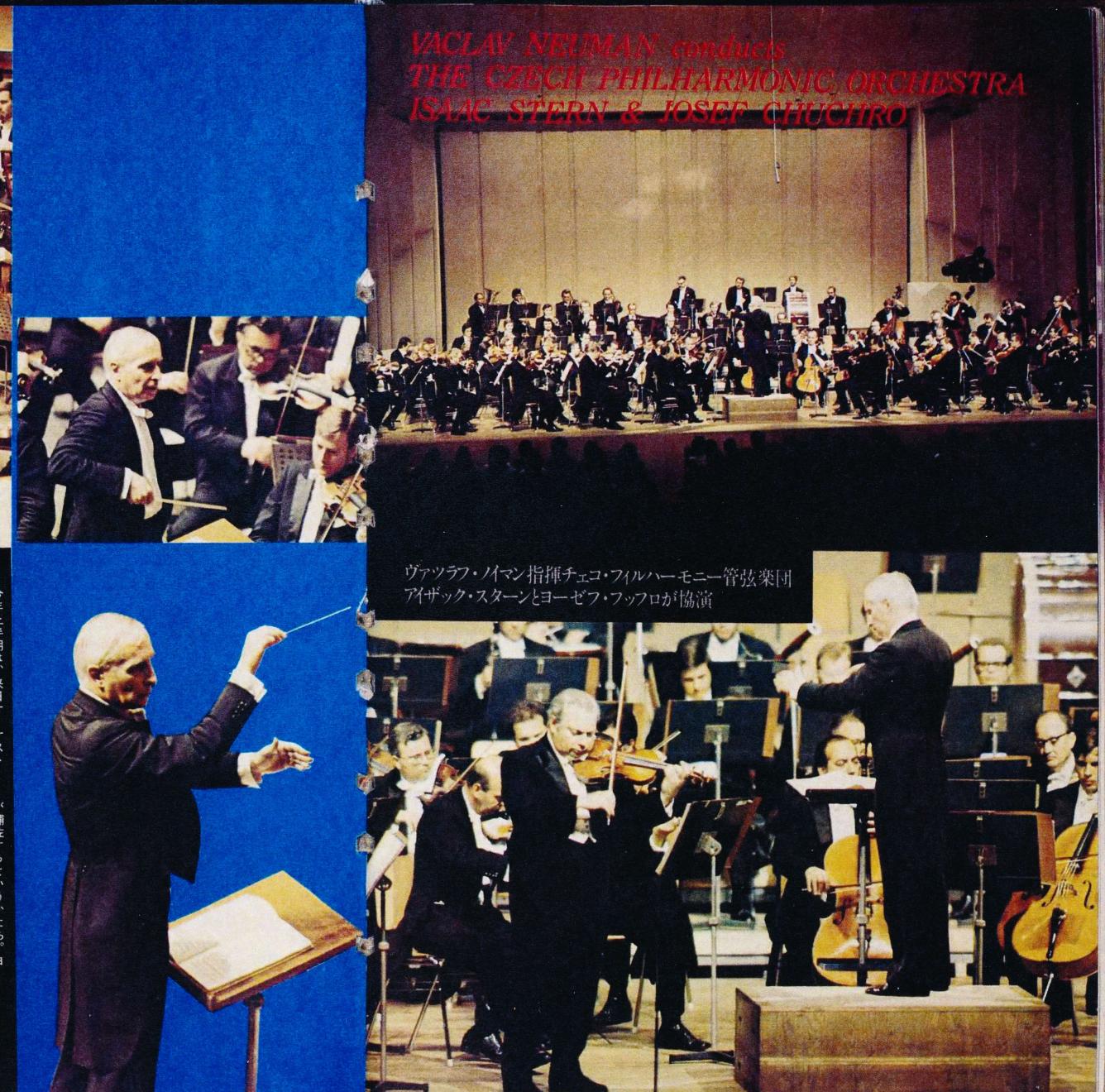
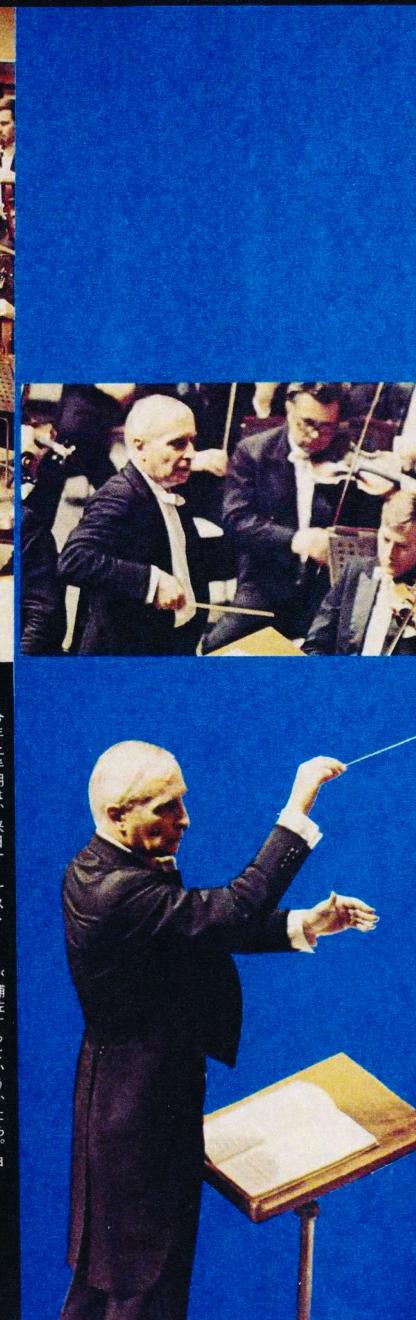


右頁上 NHKホールでのノイマン指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
右頁下 スターン（左）とドヴォルザーク「エロ協奏曲」を演奏。
左頁左 フッフロ（右）とノイマンの握手ぶり。

今年上半年期は、来日オーケストラ・ラ・ラツシュが続いたが、この最後を飾つたのがチェコ・フィル。楽団創立八〇周年、そしてスマタナ生誕一五〇年、ヤナーキエク生誕二〇〇年、ドヴォルザーク没後七〇年……と、チェコ音楽界にとって、今年は記念すべき年。チェコ関係の来日演奏家が多いのもそのせいか、チェコ・フィル三度目の来日もそのひとつ。ノイマンが主として指揮をとり、コショラ



ヴァツラフ・ノイマン指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
アイザック・スターとヨーゼフ・フッフロが協演

